



香南市歌舞伎で まちおこし実行委員会

まぢを
元気に
するてえ

赤岡町では平成5年、絵金の芝居屏風絵を歌舞伎で表現しようと地元有志で結成された「土佐絵金歌舞伎伝承会」が発足。県内外はもとより海外での公演も行なうなど、地道な活動を続けてこられました。平成19年に「弁天座」が整備され、これを拠点にさらに活動を拡大し、歌舞伎をはじめとする伝統芸能の未来への伝承と、まちおこしの起爆剤にしようと平成26年6月、新たに結成された「香南市歌舞伎でまちおこし実行委員会」の活動をご紹介します。

歌舞伎で香南市を元気に！

「絵金のまち」として有名な赤岡町。絵金祭りや地歌舞伎への取り組み、弁天座を拠点とした数々の催しは地元住民にとっても宝物。これまで関わってきた人々に新たなメンバーを加えた15人が歌舞伎でまちおこしの活動を行っています。

まず目標にしているのは香川県の「四国こんぴら歌舞伎大芝居」。中央から大物歌舞伎役者を招き、役者の名前を染め抜いたのぼりが色とりどりにはためく町で華やかな「お練り」が行われ、全国各地から大勢の歌舞伎ファンが詰めかける様は異次元の世界を感じさせます。そんな光景をこの香南市で見られたら…と熱い思いをお話してくださったのは、会長の塩井政利さん。

海老蔵さんがやって来た！

こんな田舎でも、本物の歌舞伎が見られる町にしたい！子どもたちに本物の伝統芸能に触れてほしい！そんな強い思いを背負って約2年前に上京。芸能会社の門をたたきましたが、わずか300席ほどの地方の小さな芝居小屋を相手になどしてもらえませんでした。

しかし、これまで長きにわたる町ぐるみでの活動と、実行委員、行政がタッグを組んで交渉に交渉を重ねるとついに「山は動いた！」。そうして昨年9月のビッグイベント市川海老蔵さんによる「古典への誘い」の公演が実現しました。歓喜と感激の涙を流す観客と、5回ものカーテンコールに応えてくれた海老蔵さんの姿に、これまでの苦勞も吹き飛ばす思いだったそうです。

担当／広報編集委員 久保きみ

楽しみ上手 楽しませ上手な香南市へ！

「やってやれないことはない！」実績は自信へとつながり、そして次なる目標へと続いています。この芝居小屋を守りながら、人の流れを作り魅力溢れるまちを作りたいたい…。そのために現在行っているのは、三味線や笛、鼓など「鳴り物」の練習会や衣裳の着付け講習会。市民が気軽に参加でき体験し興味・関心を持ってもらうことで後継者の育成を目指しています。

また、外国人向けの歌舞伎体験教室は大変好評で、県内在住のALLTの皆さんが参加した回は「ソーエキサイティング!!」ごころの騒ぎじゃなかった！」と塩井さん。

日本文化に触れることができる「行ってみたいまち」子ども絵金歌舞伎の上演などで子どもたちが「我慢できるまち」そしてみんなが「住みたいまち」になること…。自然と食の魅力発信もしながら、歌舞伎を見に来た人々が香南市全体を回遊し楽しめるような仕組み作りをしていきたいと実行委員会のみなさん。「歌舞伎のまち・香南市」を目指して、人々のつながりを大切に活動は、今後ますます楽しみます。



会長 塩井政利さん

引越しには
マイナンバーを
お忘れなく！

転入、転居の手続きにはマイナンバー通知カード、またはマイナンバーカードが必要になりますのでご協力をお願いします。

また、不在などでお手元に届かなかつたマイナンバーの通知カードを市民保険課（本庁1階）でお預かりしています。お手数をおかけしますが、受け取りにお越しください。

■世帯主本人でなく、家族の方でも受け取れます。詳しくは市民保険課までお問い合わせください。

■入院などで送付先変更を希望する方は、居所情報を登録してください。

【市民保険課 ☎57・8506】

《広報へのメール》
kouhou@city.kochi-konan.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.jp

i 広報紙
スマホで
広報を見よう
i 広報紙アプリの
ダウンロードは
こちらから